



〒630-8580

奈良市二条大路南一丁目1番1号
奈良市議会事務局 ☎(0742)34-4734

■発行／奈良市議会

■編集／奈良市議会広報聴取委員会



桜と春の訪れ (佐保川)

3月定例会

令和5年度一般会計予算を可決

本市議会は、令和5年3月定例会を2月28日から3月22日までの23日間の会期で開きました。

この定例会では、市長より議案59件、諮問3件が提出され、18件の報告を受けました。

市長が提出した案件のうち、議案第15号5年度一般会計予算については修正案が提出されましたが、修正案を否決して、原案どおり可決しました。

その他の議案58件については、原案どおり可決、原案に同意または原案を承認し、諮問3件については原案に同意しました。

目次

- ◆そこが知りたい
質疑・一般質問 …… 2～6
- ◆奈良大学との協定締結後
初めての連携事業 …… 6
- ◆令和5年度予算 …… 6
- ◆予算決算委員会 …… 7
- ◆議案等の議決結果と
その賛否 …… 8
- ◆第10回議会報告会 …… 8

3月6日・7日・8日の本会議では、30人の議員（うち代表質問5人）が質疑・一般質問を行いました。

以下は、質問と答弁の要旨です。（発言順）



代表質問

**新クリーンセンター候補地
決定までのプロセスは
自民党結の会 森田 一成**

問 羅城門や朱雀大路の近接地である七条地区は、文化財が多数埋蔵されている可能性のある平城京跡エリアの一部であり、また、当該地区でクリーンセンターを建設する現計画の撤回を求める要望書が提出される等、多くの課題がある。今後、市として最適地を決定するまでのプロセスをどのように考えているのか。

市長 まずは必要な面積やアクセス道路の確保など、基本的な条件をクリアできるか判断していくことが重要である。



**富雄丸山古墳を中心とした
西部地域の観光活性化は**

公明党 田畑日佐恵

問 富雄丸山古墳を中心とした市西部地域の観光活性化に向けて、今後どのように取り組もうと考えているのか。

市長 西部地域には、古都奈良の文化財の構成資産である薬師寺、唐招提寺や富雄丸山

古墳などの豊富な文化資産があり、富雄丸山古墳のこれまでの調査により得られた成果と今後の調査成果を一体的に整理し、西部地域に所在する文化遺産の効果的な活用を図り、道の駅と連携して周辺地域の活性化につなげたい。



富雄丸山古墳を中心とした
西部地域の活性化を



**行政のデジタル化
個人情報保護の体制は**

日本共産党 山口 裕司

問 「DXで暮らしをアップデートするまち」を掲げ、デジタル市役所の実現に向けた予算を編成されたが、デジタル化の中で、個人情報保護制度を守り、発展させることが大事である。市長の考えは。

市長 個人情報の収集、利用、

提供のルールを守り、電子媒体等の適切な管理や不正アクセス防止等のセキュリティ対策、委託業者等への指導監督など、個人情報の漏えい等を防ぐための安全管理措置を適切に講じていきたい。



**新クリーンセンター建設
その未来ビジョンは**

明日の奈良を創る会 内藤 智司

問 人口減少社会においてごみ処理を安定的に継続していくためには、様々な事業手法の検討が重要である。何をつくるのか議論し、その上でどこにつくるのかを決める方法もあるが、市長の考えは。

市長 現在、施設の基本構想を検討中である。従来の迷惑施設のイメージではなく、SDGsの観点も取り入れ、地域が新たな可能性と価値を生み出すまちづくりの核となり、エネルギーの地産地消ができる施設として検討していきたい。



**子育て世帯の負担軽減
小・中学校給食費無償化を**

日本維新の会 山岡 稔季

問 物価高騰などによる市民

の経済負担を軽減するため、小・中学校の給食費の無償化を進めたいが、以前、財源の問題で難しいとの答弁があった。学年や学期、または多子世帯に限定するなど、段階的に進めることはできないのか。

市長 ある年だけでなく、継続的に無償化をしていく必要があると考えるが、財源も毎年必要になるため、様々な子育て支援メニューの中で優先順位を考えながら検討すべきと考えている。



個人質問

**県の下水道広域化計画
市にとってのメリットは**

自民党・結の会 山本 憲宥

問 県が策定を進める污水処理事業運営に係る広域化・共同化計画における本市関連事業でのメリットは。

企業局長 精華地区農業集落排水施設は、流域下水道への統合で施設の老朽化に対する更新費用が不要となる。また、佐保台、青山の処理場も、平城処理場への統合で施設が不要となる。更にその後の流域下水道への統合で平城処理場の機能が縮小されれば、高の

原駅前用地の多くが不要となり、跡地の利活用も考えられる。



校内フリースクール実施 どのように検討したのか

公明党 早田 哲朗

問 不登校児童生徒への支援拡充として校内フリースクールの実施を要望してきた。令和5年度予算に係る予算が計上されているが、どのような検討がされたのか。

教育部長 校内フリースクールは、不登校児童生徒の支援を行う教員を学校に配置し、空き教室などを活用して日常的に支援を行うものである。令和5年度はモデル校を指定し、より効果的な運営の在り方を検証しながら、支援事業の充実を図りたい。



鼓阪小は唯一無二の環境 統廃合計画の撤回を

日本共産党 北村 拓哉

問 鼓阪小学校は、小規模校という利点だけでなく、四季折々の自然に囲まれ、世界遺産の中で学べる唯一無二の教育環境であり、学校と地域を相乗的に発展させるポテンシ

ルを持っている。統廃合ありきでなく、計画を撤回、少なくとも凍結させ、関係者と徹底した議論を行うべきである。

市長 よりよい教育環境を整えるため、学校規模適正化を進めていると考えている。

市長 鼓阪小学校と旧鼓阪幼稚園周辺の地域活性化に向けた計画と、旧奈良監獄、ロート奈良鴻ノ池パークと連動したドリームランド跡地周辺整備について、市長の考えは。



きたまちのまちづくり その将来像は 明日の奈良を創る会 鍵田美智子

問 鼓阪小学校と旧鼓阪幼稚園周辺の地域活性化に向けた計画と、旧奈良監獄、ロート奈良鴻ノ池パークと連動したドリームランド跡地周辺整備について、市長の考えは。

市長 鼓阪地域は歴史的、文化的に価値が高い地域であり、発展につながる活用について、市民の皆様の声を聞きながら丁寧に検討を進める。ドリームランド跡地については土地所有者と意見交換を行っており、土地全体の利用計画が必要であると認識している。

市長 鼓阪地域は歴史的、文化的に価値が高い地域であり、発展につながる活用について、市民の皆様の声を聞きながら丁寧に検討を進める。ドリームランド跡地については土地所有者と意見交換を行っており、土地全体の利用計画が必要であると認識している。



近鉄奈良線の移設計画 市が負担を負う意義は 日本維新の会 大西 淳文

問 近鉄奈良線の移設工事完了が令和42年に予定されているが、人口が減り、電車の本数等も減っていく傾向にあり、完了時には移設基準から外れている可能性がある。市として多大な負担を負ってまで進める意義があるのか。

市長 技術の革新によって、渋滞を緩和する技術もこの先改良されていく。今の時点で計画案を確定させるのではなく、引き続き時代の変化を見据えながら柔軟に対応していくことが必要である。



移設工事が予定されている菖蒲池8号踏切

ロートフィールド奈良 今後の整備は 無所属 岡田 浩徳

問 奈良クラブがJリーグに参入したが、今後メインスタジアムのロートフィールド奈良をどう整備していくのか。

市長 中長期的な整備に関して、J2クラブライセンスに相当する基準を満たすよう検討する。大型ビジョン設置はJ2の基準であり、まずはJ3の基準である夜間照明の設置を優先し、J2昇格が見えてきたら、大型ビジョン設置を速やかに検討していきたい。

市長 現在、都市計画マスタープランで大和西大寺駅周辺を地域拠点と位置づけ、立地適正化計画の策定作業を進めており、この中で民間との連携も位置づけたい。また、北口



大和西大寺駅周辺の まちづくり構想は 自民党結の会 塚本 勝

問 大和西大寺駅の南側で民間と連携したまちづくりができないか。また、北口広場周辺の市有地を活用する考えは。

市長 現在、都市計画マスタープランで大和西大寺駅周辺を地域拠点と位置づけ、立地適正化計画の策定作業を進めており、この中で民間との連携も位置づけたい。また、北口

広場に隣接する市有地を活用し、学生や地域の方々、地元企業等が連携、交流できる場となるよう、民間活力を導入した施設整備を図りたい。



男女共同参画施策の推進へ 日本女性会議の誘致を

公明党 宮池 明

問 男女共同参画室とセンターの分離で女性団体から不安の声が上がっている。また、男女共同参画施策推進のため日本女性会議の誘致を平成14年から求めているが、実現していない。女性団体からの信頼を回復し、施策推進への市の本気度を示すため、日本女性会議を誘致する考えは。

市長 日本女性会議は、市民や多くの関係者の意識を高める機会となる重要な場である。女性団体、地域、企業や大学と連携し、誘致に向けて検討したい。



富雄丸山古墳 周辺整備と警備体制は

日本共産党 山本 直子

問 富雄丸山古墳は、蛇行剣や盾形銅鏡の発見が話題となっている。来訪者のための解説

板設置、駐車場確保などの周辺整備や発掘現場の警備体制について、早急に改善が必要だと考えるが、いかがか。

教育部長 令和5年度に古墳解説板の増設を予定しており、駐車場の確保は道の駅の利用と併せて協議していく。また、古墳ロードマップを作成するなどして広報しつつ、現場の警備体制は電子機器でのセキュリティも考慮して進める。



富雄丸山古墳の周辺整備や警備体制の早期改善を



不適切保育予防へ保育士の配置基準の改善と研修を明日の奈良を創る会 阪本美知子

問 不適切保育の背景として保育士配置基準の悪さが指摘されているが、その認識は。また、子ども主体の保育や人権保育を学ぶ研修の機会はどうなっているのか。

子ども未来部長 保育教育士の業務負担を軽減することに

より、保育教育士の精神面にゆとりが生まれ、不適切保育の抑制に一定の効果が見込める。また、市が主催する研修で人権問題の正しい理解と認識を深められるよう取り組んでいる。



鉄道駅のバリアフリー化 具体的な補助制度は

日本維新の会 柳田 昌孝

問 令和5年度予算案には、

人にやさしい鉄道駅整備事業補助経費が計上されている。地域の方などが要望している近鉄西ノ京駅のバリアフリー対策はどうなっているのか。

市長 今回はトイレ改修と待合室の自動扉化整備への支援を予定している。地域や障害者団体からの要望である、駅の無人化で使えなくなつたスロープの代替手段や駅南側の踏切の安全対策などは、鉄道事業者をはじめ関係機関としっかり協議して進めていく。



コロナワクチン接種後の健康被害への支援体制は

無所属 岡本 誠至

問 ワクチン接種後の健康被害に関する市への相談及び救済制度の申請状況、また、昨年3月定例会で改善を求めた申請に対する市の支援体制は。

健康医療部長 令和5年2月末までの相談は74件、申請は予定も含めて30件である。支援体制については、新たに専門の問い合わせ先を設け、相談者には市から連絡を取り、申請に必要な書類の作成を医療機関等へ依頼する文書を市が作成するなど、きめ細やかな支援をするよう努めている。



ハート・プラスマークで内部障害の理解促進を

自民党・結の会 榎本 博一

問 内部障害・内臓疾患への理解促進に向けた市の考えは。

福祉部長 内部障害で身体障害者手帳をお持ちの方は令和5年2月時点で4535名おられる。内部障害者は、外見上障害者と分らないことや、内部障害の認知度が低いことから誤解を受けやすいため、市民だよりや電子広告を利用

し、ハート・プラスマークやそれ以外の障害者に関するマークの更なる周知を行い、理解の促進につなげていきたい。



内部障害・内部疾患への理解促進が求められる



発達障害の子ども・若者へ切れ目ない支援を

公明党 藤田 幸代

問 発達障害の早期発見・早期療育が重要であり、乳幼児期から学齢期及び若者の社会的自立に至るまでの切れ目ない伴走型支援の必要性を訴えてきたが、市の認識は。

市長 子どもだけでなく、保護者にも寄り添う伴走型支援が必要である。そのためには、保健・子ども・福祉・教育に就労面で商工を加えた多様な部署の連携による、個人に軸を当てた支援が必要であり、切れ目ない支援を意識して、新年度からの体制強化に努めたい。



高額すぎる介護保険料 基金を活用し引き下げを

日本共産党 榎井 隆志

問 令和6年度に介護保険料の改定が予定されている。これまで改定のたびに利用者の負担が増え、現在は開始当初と比べて2倍の保険料となっている。食品の値上げなど生活が厳しい中でこれ以上保険料が上がれば、払いたくても払えない市民が増えてしまう。基金を活用し、保険料を引き下げる考えはないのか。

福祉部長 急激な保険料の増額は避けるべきと考えている。給付費の試算の中で、基金の活用について議論していく。



子どもの冒険遊び場 黒髪山プレーパーク実施を

明日の奈良を創る会 樋口清二郎

問 子ども未来部のプレーリダーの取り組みとの連携により、黒髪山キャンプフィールドでプレーパークを実施できるのではないか。

教育部長 教育部と子ども未来部が連携し、黒髪山キャンプフィールドやくろかみやま自然塾の関係者の方々に協力いただければ、プレーパーク

の試行について前向きに検討できると考えている。今後も、関係者で連携、協議を行いながら、子どもたちの遊び場として展開できよう考えたい。



黒髪山キャンプフィールドに
子どもたちの遊び場を



市が抱える多すぎる訴訟 パワハラ防止の考えは 日本維新の会 佐野 和則

問 令和5年1月に市長がパワハラで提訴され、2年連続で市長が訴えられるという異常な事態である。過去5年間で市が訴えられた件数は99件、3年度に訴訟費用として支払われた税金は1811万円で、他市と比べて非常に多く、市民に信頼されていないことが原因と思う。議会にはパワハラ防止の指針があるが、市にも必要なのではないか。

市長 職務倫理を守るとい

意味では同様のものがある」と認識している。



子どもの力を育む教育体制 現場任せとならないように 無所属 下村 千恵

問 フリースクールの開校など枠組みの整備に留まらず、子どもの主体性を育むと共に、教員が力を発揮できる環境を整える必要があると考えるが、今後の教育事業の方針は。

教育長 子どもたちを取り巻く環境の多様化、複雑化に伴い、外部人材や地域の力を活用しつつ、教員の育成を行っている。誰一人取り残さない学びの実現のため、重点事業は予算を増額するなど、めり張りをつけて取り組んでいきたい。



近鉄奈良駅の駅前広場 再整備の進捗状況は 自民党結の会 横井 雄一

問 近鉄奈良駅前広場の再整備について、進捗が滞っているように思われるが、その要因は。また、今後のスケジュールはどうなっているのか。

市長 県が公表した案には駅利用者等の意見が反映されて

おらず、県は今後の進め方等を再検討していると聞く。また、鉄道、バス、タクシー事業者と県・市での交通機能の在り方の協議に時間を要している。県は必要経費を令和5年度予算に計上しており、検討を続けていくと考えている。



市民の参画・協働により 成果をあげる仕組みを 明日の奈良を創る会 山出 哲史

問 市長は、第5次総合計画の巻頭言で、まちづくりは市民など様々な主体との協働が重要であり、時にはそれぞれ、時には一緒に理想の市をつくっていく環境づくりを進めたいと述べている。市民の参画・市民との協働の下で施策を実行して成果をあげるための仕組みづくりを令和5年度の主要な施策項目に位置づけ、推進していくべきではないか。

市長 趣旨としては重要なことだと受け止めている。施策を進める中で配慮していきたい。



小規模住宅地の市道認定 基準を明確にして広報を 無所属 酒井 孝江

問 小規模住宅地の路線の一部だけを市道認定しようとしているが、昭和40年代以降の小規模住宅地でも同様の道路が私道のままで、傷みが激しく市民が困っている。市道認定の基準を明確にして広報すべきではないか。

市長 公共工事などで全線にわたり引き継ぎ協議が成立したものの、一般交通上重要で起点・終点が公道に接続しているものの等の条件を設けている。認定基準を満たしたもののについて、市道として認定している。



保育所等の利用定員設定 変更基準は 自民党結の会 八尾 俊宏

問 保育所等の利用定員の設定について、本市に具体的な変更基準はあるのか。

子ども未来部長 特定の基準は設けていなかったが、国の通知を基に利用定員の設定方法について基準を作成しているところである。具体的に、変更後の利用定員は、国の通知により過去3か年の平均利

用児童数を基に設定することが例示されているため、本市でもこの例示に即して基準を作成し、対応したいと考えている。



西大寺駅のまちづくり (仮称) 交通条例の考えは 無所属 松石 聖一

問 供用開始となる大和西大寺駅北口のタクシー待機場のスペースには限りがある。入構について規制をかけるのか。また、条件に違反した場合の措置は。この際、(仮称)交通条例を検討してはどうか。



整備が完了した
近鉄大和西大寺駅北口駅前広場

市長 各事業者の保有台数を考慮の上で台数を制限し、条件に違反した場合は運行管理者や近畿運輸局に報告する。市民や旅客者が快適に安心して利用できる公共交通機関を目指すことは重要であり、条

例制定についても検討したい。



施設開設の期日を大幅に過ぎる事業者への対応は
自民党・結の会 道端 孝治

問 募集要項に沿って選定された介護老人保健施設整備事業者が、要項に定められた期日を大幅に過ぎる時は、どのようなペナルティーがあるのか。ない場合、公募の公平性が担保できないのではないのか。

福祉部長 やむを得ない理由があり、また、要項に定めがないため、ペナルティーを科すことはできない。

総務部長 公平公正の観点から、やむを得ない事情と判断された場合は、公募の原則に反することにはならない。



**新たな行財政改革計画
新年度予算における効果は**
無所属 中西吉日出

問 令和5年度の予算編成において、どのような項目で新たな行財政改革計画に係る行革効果額を捻出したのか。
市長 新たな行財政改革計画の方向性の下、各計画の取り

組みの柱に基づいて進める。公共施設は、管理手法を見直し、同じ建物内で別の指定管理者を置いていたところを統合する他、DX推進による市民サービス向上、業務改善、歳入増に向けた取り組みの推進など、中長期的に行革効果を発揮するための予算とした。



**奈良大学との協定締結後
初めての連携事業**

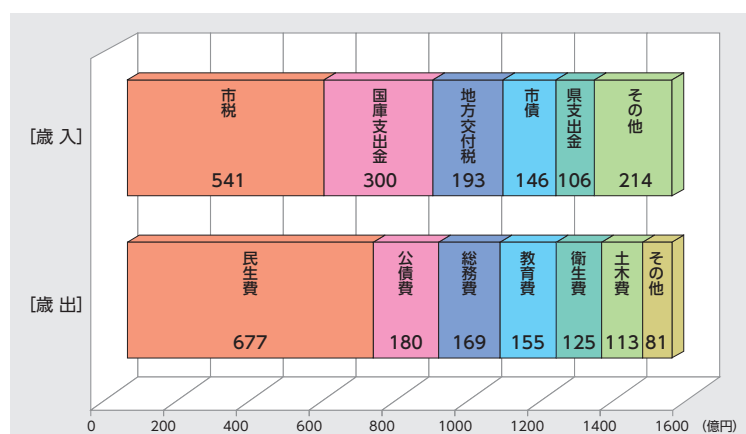
令和5年3月19日、連携協定に基づく事業の一環として、「国宝級の大発見！富雄丸山古墳を地域振興に活かす」というテーマの下、奈良大学でシンポジウムが開催されました。

市議会からは、北良晃議長が開会挨拶を行い、道端孝治観光文教委員長がシンポジストとしてテーマに対する市議会の取り組みを発表しました。



令和5年度一般会計予算

	予算額 (億円未満を 四捨五入)	対前年度比 削減 ＝(▲はマイナス)	市民1人当たり (4月1日現在、 千円未満を 四捨五入)
	1,500億円	▲8.2% 訂正 8.2%	42万8千円
【歳入】			
市税	541億円	3.4%	15万4千円
(うち市民税)	(267億円)	5.5%	7万6千円
国庫支出金	300億円	3.1%	8万6千円
地方交付税	193億円	9.5%	5万5千円
市債	146億円	55.6%	4万2千円
県支出金	106億円	3.5%	3万円
その他	214億円		6万1千円
【歳出】			
民生費	677億円	4.4%	19万3千円
公債費	180億円	2.6%	5万1千円
総務費	169億円	10.2%	4万8千円
教育費	155億円	43.7%	4万4千円
衛生費	125億円	1.9%	3万6千円
土木費	113億円	13.7%	3万2千円
その他	81億円		2万3千円



一般会計予算1500億円 未来への投資を重視

令和5年度予算について、市長は、2月28日の3月定例会本会議の提案説明で、「5年度は、物価高騰等の影響は見られるものの、コロナ禍から脱却し、日常を取り戻し経済が本格的に動き出す重要な年である」と述べた。

感染症対策、医療提供体制は維持しつつ、本市が多くの方にとって住みやすく、選ばれるまちとなるよう、持続的な成長を生み出すための未来への投資に重点を置いた予算として編成した」と予算の編成方針を述べ、一般会計で前年比8.2%増の1499億8000万円、全会計で前年度比4.4%増の総額2601億8700万円の予算案を提案しました。

審議の結果、令和5年度の予算案はいずれも原案どおり可決しました。

令和5年度予算

予算決算委員会

この定例会では、人事案件等を除く令和5年度一般会計予算等の56件を予算決算委員会へ付託しました。

委員会は、3月8日に資料を要求し、13日・14日・15日に5つの分科会で審査を行い、17日に各分科会委員長の報告を受け、総括質疑を行いました。

委員より一般会計予算について組み替え動議が提出され、採決の結果、組み替え動議を否決して、付託された56件はいずれも原案どおり可決、同意または承認すべきものと決定しました。

各分科会での主な質疑項目、意見は次のとおりです。

ここでは、質疑のあった項目、意見のみ記載します。詳しくは市議会ホームページの録画中継等でご確認ください。

総務分科会

- 万博連携でシンポジウムを開催する理由と費用対効果
- 本庁舎南側広場整備の事業コンセプトと整備後の活用
- 新行財政改革計画の令和5年度当初予算案への反映

●避難所受付名簿の電子化の内容

- インボイス制度導入による市の財政や事業者への影響
- 滞納整理においてオンライン化を進めることによる個人情報漏えいなどのリスク
- 答弁調整システムによる事務効率化とペーパーレス化
- 庶務事務システム改修内容
- 人権文化センターの在り方の見直しへの認識

- 広報誌配布業務委託内容変更理由と契約期間の妥当性
- 施設の指定管理の目的と管理者の事業内容の食い違い
- 防犯カメラのリースへの切り替えの目的と効果及び今後の計画
- 市民意識調査実施に当たった留意点

観光文教分科会

- 観光地情報アプリの運用や周知方法、定着までの期間
- なら工藝館運営管理経費減額による影響と今後の対応
- 学校図書館に設置しているパソコンの整備計画
- 埋蔵文化財調査センター移転改修への現在のイメージ
- 奈良工芸後継者育成に係る予算の内訳と事業内容
- ワークスペース創出促進事業の内容と取り組みの背景

●小規模特認校制度の活性化への努力や制度の意義

- リニア事業で相次ぐ事故を受けて、市は中間駅誘致事業を中止すべきではないか
- 鼓阪・佐保小学校統合後の学校名と通学路の安全確保
- 森林環境譲与税充当事業と森林環境教育の今後の方針
- J・R帯解駅舎改修工事の保存改修設計事務委託内容
- 興福寺五重塔保存修理事業への補助額と今後の予定
- 部活動指導員の指導時間の現状

- H・O・Pの入所対象学年と個別最適な学びとの関連
- 富雄丸山古墳と中町道の駅の連携
- 公民館の指定管理期間を5年から1年に変更した理由

厚生消防分科会

- 第2子保育料無償化における制度設計と市民への影響
- 万年青年クラブ等の高齢者の社会参加促進への姿勢
- ヤングケアラー支援における新年度予算の内訳、所管課の役割分担と今後の連携
- 妊娠・出産への応援事業費の内訳と給付金の算定
- 来年度の国民健康保険料
- 加齢性難聴者への補聴器購入助成の早期の実現

●消防指令設備整備の全体像と更新時期の検討

- 学習支援事業における現状の総括と今後の事業展開
- ヤングケアラーの把握方法と孤立させないための支援
- 社会福祉法人等への指導監査体制の早期改善
- 新年度の主要な施策項目にひとり親世帯等への貧困対策事業がない理由
- 児童相談所職員に対するサポート体制
- 民生委員協力員の身分

市民環境分科会

- 仮想空間に写真美術館を設立する実証実験の内容
- メタバース事業の今後の展開
- 西部会館市民ホールと西部公民館の一体管理のメリットと指定管理期間
- 環境清美工場の維持補修事業と今後の予算の見通し
- 指定管理者制度の趣旨及び各施設の指定管理期間と個別計画との整合性
- 女性活動推進補助金の交付額が1団体のみ高額な理由
- 雑がみ分別の取り組みによる成果の停滞
- 地域自治協議会の協力による公園の維持管理の必要性
- 堆肥化事業に係る資源循環

●の仕組みづくりの進ちよく月ヶ瀬地域の持続可能な地域社会構築における住民理解と共助の意識の醸成

- 公共施設の再エネ導入による電力供給の留意事項
- 柏木コートのフェンス改修の必要性
- ポイ捨て防止条例の改正に関する市民への周知
- 高の原自転車駐車場の指定管理を直営に変更する理由
- 環境清美工場の大規模改修工事の内容

建設企業分科会

- 近鉄高の原駅前エスカレーター撤去工事の内容
- 汚水処理の広域化における市施設の維持費と更新計画
- 新年度予算において修繕できる遊具の数
- 水道事業経営戦略見直し業務委託による方針反映方法
- 県流域下水道事業への負担金の是正の必要性
- 道路浸水対策工事の内容や優先順位
- 開発指導管理システムや道路台帳閲覧システムの汎用性
- 市営住宅の滞納家賃の支払いに当たっての対応
- 高の原駅前広場のまちづくりのイメージ図

議案等の議決結果とその賛否

○：賛成　×：反対

件名		議決結果	会派名（一部略称）					無所属					
			自民党・結の会	公明党	日本共産党	明日の奈良を創る会	日本維新の会	岡田浩徳	岡本誠至	下村千恵	松石聖一	酒井孝江	中西吉日出
◆ 議案													
予算	令和4年度一般会計補正予算（第9号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	令和5年度一般会計予算	可決	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	×
	〃 国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	〃 介護保険特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	〃 後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	〃 下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
条例	附属機関設置条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
	児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正	可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
人事案件	教育委員会の教育長の任命（北谷雅人氏）	同意	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
◆ 動議													
議案第15号 令和5年度奈良市一般会計予算に対する修正案		否決	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×
带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書		可決	全会一致										
日米地位協定の抜本的見直しを求める意見書		可決	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○

注：議長は採決に加わりません。
市長提出議案で全会一致したものを省略しています。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

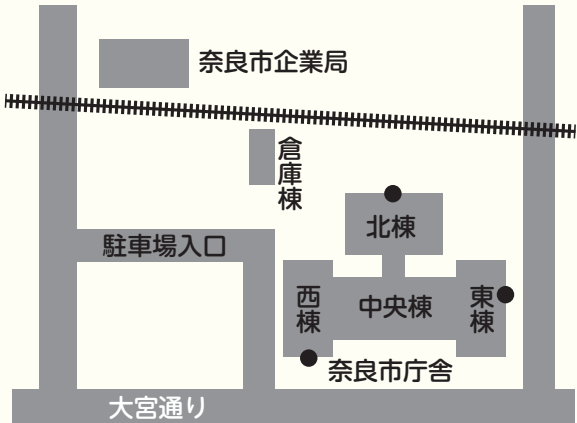
（会派所属議員名） 令和5年3月22日現在

会派名	議員数	所属議員名											
自民党奈良市議会・結の会	10	森田 一成 横井 雄一	塚本 勝 土田 敏朗	榎本 博一 北 良晃	道端 孝治	太田 晃司	八尾 俊宏	山本 憲宥					
公明党奈良市議会議員団	7	森岡 弘之	宮池 明	早田 哲朗	藤田 幸代	田畑日佐恵	九里 雄二	伊藤 剛					
日本共産党奈良市会議員団	6	山口 裕司	榊井 隆志	白川健太郎	山本 直子	井上 昌弘	北村 拓哉						
明日の奈良を創る会	5	内藤 智司	山出 哲史	樋口清二郎	鍵田美智子	阪本美知子							
日本維新の会奈良市議団	4	大西 淳文	山岡 稔季	佐野 和則	柳田 昌孝								

第10回議会報告会

- 【日 時】 令和5年5月19日（金）
18時～19時30分予定
- 【場 所】 市役所西棟（議会棟）3階 大会議室
- 【内 容】 議会概要報告と意見交換会
- 【対象者】 令和5年度中に18歳から22歳になる方で、
市内に在住、在勤または在学の方
※高校3年生も参加可能
※学生は23歳以上の方でも参加可能
- 【定 員】 60名程度
- 【締め切り】 令和5年5月12日（金）

報告会の詳細やお申込み方法は、
右のQRコードからご確認ください。



ご参加お待ちしております。